十月の天象

太陽

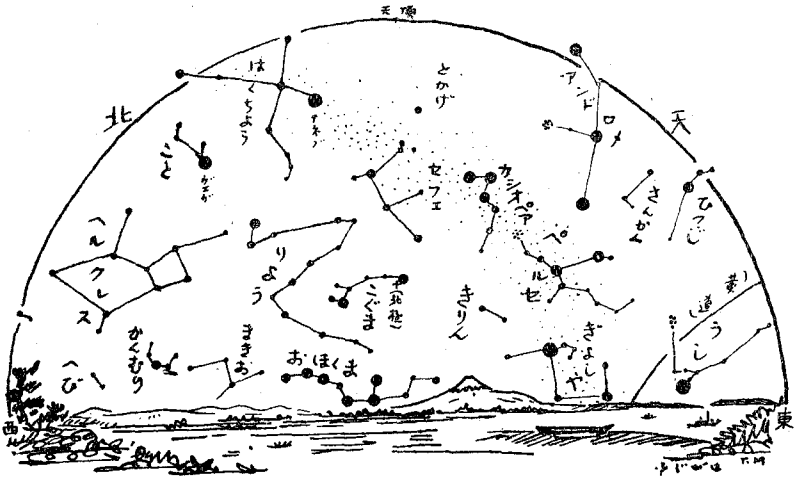
日	赤徑	赤緯	視直徑	星座
1	12時27分50秒	南 3度 0分	32分 0秒	をとめ
11	13時 4分18秒	6度51分	32分 6秒	をとめ
21	13時41分34秒	10度32分	32分11秒	をとめ
31	14時19分56秒	13度58分	32分17秒	てんびん

月始めは天秤宮にあるも，23日に天蝎宮へ侵入する．22日早，日食があるが，吾國からは全然見えず．オーストラリアの中部以東より，南太平洋を横斷して南米の最南部までから見られる．皆既日食である．

月

月の相	時刻	視直徑	星座
滿月	8日午前 3時55分36秒	29分59秒	うを
下弦	15日午後 2時11分54秒	31分59秒	ふたご
新月	22日午前 6時47分36秒	32分21秒	をとめ
上弦	29日午後 6時22分 6秒	29分39秒	やぎ
遠地點通過	3日午後 5時54分	29分29秒	やぎ
近地點通過	19日午後 4時42分	32分47秒	し
遠地點通過	31日午前11時18分	29分32秒	やぎ

今月の遊星歷訪は，先づ最初に，8日午前3日に天王星に追ひ付いて，掩蔽を起すのが始まりである．日本から勿論見る事が出來るのであるが，何分月光が强いので，先月同樣，大口型望遠鏡を必要として，みすみす一般人士は此の景色を見る事が出來ない．幸ひ此の時月蝕は起るが蝕分が，少なくて，月光を弱めるに至らない．15日午前10時に木星を追ひ越し，同日夜半に火星と出合ひ，18日午後2時に海王星に追ひ付いて，21日午前11時には水星と合つて，その南側1度を通り，24日夜半に金星に追ひ付いて，北側2度を通り，最後に27午前10時に土星に追ひ付いて，その南側6度を通過して，今月の遊星歷訪を終る．



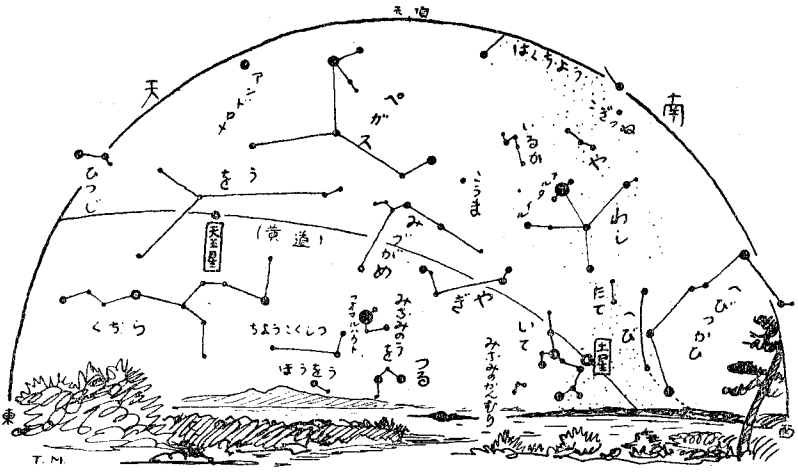
恒　星　界

桔梗，刈茅，女郎花等の七草が咲き揃つて，吹く風も肌に心地よく，紅に染つた夕映の空が，次第に紫紺の色と代つて，足もとに鳴く虫の音も，秋のあはれを物語る頃，空では「へびつかひ」や「ヘルクレス」が西に低く牽牛星や織女星も稍西に傾いて，天上もすつかり，秋景色となつて了つた．

北斗七星は北の地平線に低く，「こぐま」の東には「カシオペヤ」，「ペルセ」「きりん」などが並び，東の地平線には既に，プレヤデス，ヒヤデス等が人目を惹ひてゐる．其のお隣には「くぢら」があり，その驚きの星「ミラ」は，一年近くの週期で變光をなして，昔人を驚かした．南の地平線には「みなみうを」のホマルホウトが君臨し，其の附近には，「つる」，「やぎ」，「いて」等が位置してゐる．

天頂を圍んで，「ペガス」，「アンドロメ」，「はくちよう」等が位し，暫らくすれば，東に「うし」，「ぎよしや」等が登つて來る．

「ペルセ」の二重星團や，「うし」のプレヤデス，さては「アンドロメ」の大星霧等美しい天體が，吾人の鑑賞するのを待つてゐる．



遊　星　界

水　星　曉の星であり,7日に西方極大離角18度となる．其時の光度正1等,視直徑7秒，位置は「をとめ」座 β 星に近い．以後次第に太陽に近づき，觀望不能となる．

金　星　宵の明星．18日には最大光輝負4.3等に達して西空に輝やく．月始め「てんぺん」の中央にあり，徐々に順行して月末「さそり」の西部に到るが，次第に太陽に近付いて行く，視直徑は月始めに31秒，月末に48秒．

火　星　月始めに「ふたご」座中央より稍東から順行して，月末「かに」の中央に達す．夜半前の出現で，光度1等，視直徑はぐんぐん增加して，月始めに7秒月末には8秒となる．

木　星　午後11時に東天に登る．「かに」座の中央から順行して同座東部に到る光度も徐々に增大し負2等に近く，視直徑もますます大きくなつて，38秒にまでなる．今後は次第に觀望に都合がよくなる．

土　星　宵の西空「いて」座にあり．視直徑14秒，光度正半等級．

天王星　宵に東天に登る，7日に太陽と衝の後，8日には月に掩蔽される．位置は「うを」座の中央，視直徑4秒足らず．光度6等．

海王星　曉の星．午前2時頃東天に登る．「しし」座レグルスに近い．光度8等．

超海王星プルート　いよいよ又好い觀測期に入つた．世界の大天文臺は多忙を極める，位置は双子座デ星の東3°半．

エロス　永く待つた此の星も愈々馭座に10等星とて出現．